

(昭和59年9月1日現在)

人口	21,596	(-4)
男	10,633	(-6)
女	10,963	(+2)
世帯数	6,529	(+5)

—人のうごき(8月中)—

転入	92人	転出	22人
出生	103人	死亡	15人



# まくべつ

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



## 収穫の秋にニコニコ顔

さわやかな秋空が広がるジャガイモ畑で、選別作業に忙しい上石<sup>おがし</sup>覚さん(27歳・弘和)照子さん(26歳)夫婦です。覚さんは「広い大地で農業をしたいと昭和52年に山形県から来ました。今年のジャガイモは干ばつ気味で粒は小さいですが豊作ですね」と作業する手にも力が入っていました。

## 40歳からの健康週間

10月10日～16日

# 老後への備え 健康も忘れずに

十月十日は「体育の日」、またこの日から十六日までの一週間は「四十歳からの健康週間」です。今年から始まるこの週間は、壮年期からの健康づくりと成人病予防のための週間です。かけがえのない財産、健康を失わないようにしましょう。



運動公園でグラウンドゴルフを楽しむ主婦

## 運動しないと生きていけない

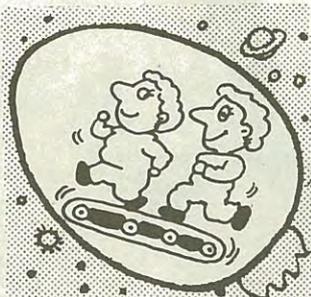
人間は動物ですから、動いているのが本来の姿です。食物を得る、水をくむ、火を起す……ほんの数十年前まで、こういったことに対して今よりも、体を動かしていたはずは、たぶん、です。

ところが、人間はこれらの作業をつらいこと、嫌なことと感じていたようです。科学技術の進歩は、こういった労働から逃れようとした努力の積み重ね、と言っても言い過ぎではありません。

楽をしたい、体を動かしたくない……。その結果、蛇口をひねれば水が得られ、スイッチ一つで火が起るといった具合に、繰り返し行う労働から逃れたり、つらい労働にかかわる時間を短縮することに成功しました。しかし、その一方で、「運動不足」という大問題を抱え込んでしまったのです。

### 宇宙飛行最大の危険は運動不足

運動不足——その際立った例は、病気で寝ている人を別にすると、宇宙飛行士でしょう。彼らは狭い宇宙船内、しかも無重力状態という足腰の負担がほとんどない環境



で、何日間あるいは何週間か過ごさなければなりません。

宇宙飛行で最大の危険は、体重ゼロという状態に人体が慣れ切ってしまうこと、といわれています。こういう状態では、重力の負担がかからない足腰の筋肉に血が流れにくくなってしまいます。使わない自転車のハンドルやギヤに油が通わなくなったことを思い浮かべてください。放っておくと動かなくなってしまうはずは、これを防ぐためには、絶えず動かしてやらなければなりません。例えば、アメリカ合衆国の宇宙船・スペースシャトルでも、ランニング・ロードを使った運動時間が設けられています。

### 毎日の生活に取り入れましょう

#### 体力づくり10カ条

- ① 3階までの上り下りにはエレベーターを使わない
- ② 前かがみ姿勢の外股歩きをやめ、腰を押さず、膝を曲げて歩く
- ③ 落ちているものを拾う時は、膝のバネを使って拾う
- ④ まめに動く
- ⑤ 靴下の脱ぎ履きは、片足立ちで
- ⑥ 笑いと歌を忘れずに
- ⑦ 階段を上る時は、手すりにつかまらな
- ⑧ 自然との接触の機会を多く持つ
- ⑨ イライラ、クヨクヨ、ドキドキは少なくする
- ⑩ 自分自身に適した健康法を用意する  
文部省「スポーツを生産の友に」(中高年編)より

## 運動時間を

### 日課に入れよう

マイコンが温度調節するエアコンディショナー、声の出る電子レンジ……。私たちの生活空間は以前にも増して、宇宙船に近い

## 長生きするにはどうするが

健康づくりの三本柱は「運動」「栄養」「休養」といわれています。全国に住む百歳以上の人全員を対象とした調査、「長寿者保健栄養調査（健康・体力づくり事業財団）」の結果からも、そのことを確かめることができます。

## 長生きの秘訣は運動と バランスのとれた食事

まず、長寿者が一番長く従事した仕事を見てみましょう。過ごした生活環境の良し悪しも考えられますが、体を動かすことが健康に結びつくと思われる結果が出ています。

長寿者が一番長く従事した職業の五・三％は農林業です。次いで商売などの自営業一三・六％、無職一一・一％となり、会社・役所などの勤労者は五％にすぎません。

また、長寿者が「中年以降の生活の中で心掛けていたこと」は、①物事にこだわらないようにしていた ②規則正しい生活をするよう努めた ③睡眠・休養をとるようにした ④食事に気をつけていた——の順に多くなっています。

④の食事について詳しくみると、気をつ

づいています。そして、自動車やエレベーターなどの利用によって負担が軽減された私たちの足腰は、無重力状態と同じ「ぬるま湯」に浸されています。私たちにも、宇宙飛行士を見習って日課に運動時間を組み入れなければならぬ時がやってきた、といえるでしょう。

けていたとすることは次のような事柄です。多い順に挙げてみましょう。

- 栄養が偏らない
  - 三回の食事を規則正しくとる
  - 暴飲暴食をしない
  - 食物の好き嫌いをしない
  - 塩分をできるだけとらない
- さらに、好きな食事を尋ねたところ、次のような結果が得られました。（表参照）

長寿者が好きな食べ物

順位	料理名	(%)
1	野菜の煮物	33.6
2	刺身	20.6
3	すし	17.2
4	煮魚	15.2
5	酢のもの	12.2
6	みそ汁	8.6
7	カレーライス	8.3
8	もち	8.3
9	めん類	8.2
10	天ぷら	7.4

複数回答、11位以下略  
「長寿者保健栄養調査」  
(健康体力づくり事業財団)

## 健康は自分で手に入れるもの

あなたは健康ですか——こう聞かれたとき、ためらいなく「はい」と答えられる人が何人いるでしょうか。同じ質問を全国の二十歳以上の人、三千人に問いかけた調査があります（総理府広報室「体力・スポーツに関する世論調査」昭和五十七年十月）。それによると、「自分は健康である」と答えた

人は、半数以下の四六・五％にすぎません。また、昭和五十八年の「国民健康調査」（厚生省）によれば、国民の八・一人に一人が、何らかの病気にかかっています。ところで、「健康」とは、いったいどんな状態をいうのでしょうか。「朝の目覚めがよい」「食欲がある」「通じが快調」などと人そ



老人スポーツ大会で幼稚園児と一緒にハッスルするお年寄り

れぞれに違うかもしれませんが。しかし、いま挙げたような健康であることを感じる、あるいは意識する「尺度」があるはずだ。

## あなたの健康の尺度は

あなたは、どういう状態ならば健康だと考えられますか、と「健康づくりに関する意識調査（健康・体力づくり事業財団）」では、健康の状態を次の五つに分けて二十歳以上の約五千人に問いかけています。

- ① 病気をしないこと
  - ② 日常生活が支障なく行われること
  - ③ 健康診断で異常を認められないこと
  - ④ 快食・快眠・快便の状態にあること
  - ⑤ 気分そう快に毎日の生活ができること
- その結果を見ると、二十代、三十代では、⑤の「気分そう快に毎日の生活ができること」を挙げた人が約三割と一番多くなっています。これに対し、年代が上がるほど、①や②の「病気をしないこと」「日常生活が支障なく行われること」といった、健康に対して消極的な答えが多くなります。

健康とは単に病気でない状態に満足するのではなく、さらに一歩進めて、体を常にベスト・コンディションに保つ」という、積極的な健康づくりに努めたいものです。



# 受賞おめでとう ございます 町功労者等表彰

昭和五十九年度幕別町功労者等表彰式が十月一日(開町記念日)に町民会館で行われました。町表彰条例に基づき本町の自治・社会・経済等の発展に永年尽された方を表彰するもので、本年度は自治功労賞二人、社会功労賞五人、産業功労賞一人の八人が受賞しました。



自治功労  
大野春雄さん(68歳)  
(千住162・農業)

昭和四十三年八月、町選挙管理委員会委員に就任し、昭和四十九年十月には同職務代理者に選任され、本年三月に退任するまで十五年九カ月の永きにわたり、選挙の公明かつ適正な管理執行に務め、明るく正しい選挙の推進に尽くしました。



自治功労  
中川秋義さん(68歳)  
(錦町109・商業)

昭和四十三年三月、町選挙管理委員会委員に就任。同年九月には委員長に選任され、本年三月に退任するまで十六年間の永きにわたり、国政・地方選挙の公明かつ適正な管理執行に当たり民主政治の発展に寄与するとともに、常に正しい選挙の推進に尽くし、本町自治振興に多大に貢献しました。



社会功労  
川瀬卓雄さん(80歳)  
(札内豊町202・貸家業)

昭和四十五年四月から昭和五十年七月まで、札内地区交通安全実践会副会長として、また、昭和四十五年七月から昭和五十九年三月まで約十五年もの永きにわたり、町防犯協会理事として、地域住民の生活の安全および生命、財産の保護に寄与しました。



社会功労  
芝木梅さん(71歳)  
(宝町9・無職)

昭和四十年十二月以来十八年の永きにわたり、民生児童委員として地域の福祉向上に寄与し、特に母子困窮世帯の自立更生、老人の慰問や相談相手として温厚・誠実な人柄をもって当たる行動には住民から高く評価されています。



社会功労  
西尾正造さん(71歳)  
(千住670・農業)

昭和三十七年十二月以来二十一年もの永きにわたり、民生児童委員として地域住民の福祉に対する意識の向上に努め、低所得者の自立更生、老人クラブの組織化や助成に尽力しました。



社会功労  
山口武雄さん(69歳)  
(途別486・農業)

昭和四十三年十二月以来十五年の永きにわたり、民生児童委員として、地域住民の福祉に対する意識の向上に努めました。



社会功労  
有田孝さん(63歳)  
(美川381・農業)

昭和二十八年六月から現在に至るまでの三十一一年間にわたり、統計調査員として従事し、本町行政の推進に多大な貢献をしました。



産業功労  
久保義一さん(74歳)  
(古舞646・農林業)

昭和三十九年二月から昭和五十二年二月までの十三年間にわたり、町森林組合の理事として民有林振興に貢献し、さらに昭和五十二年二月から昭和五十九年二月までは、同代表監事として尽力しました。

人気を集めた福祉施設チャリティーバザー



手拍子と感動の輪が会場に広がったわたぼうしコンサート



ふれあい広場 '84まくべつ (町社会福祉協議会主催) が9月8日、9日の両日、依田公園一帯で開かれ、「体験の広場」「ふれあい交流会」など5つのコーナーや協賛事業の「第2回わたぼうし全道フェスティバル」に約3,000人が訪れ、ふれあいの輪、が広がりました。



# とびだそう！大地へ

## ふれあい広場'84まくべつ

幕別バントワラズも練習の成果を披露



実際に手を動かして手話の勉強(体験の広場で)



テレビ番組収録のため坂本九ちゃんも来町



鈴木まゆみさん  
(幕別高校2年)

# アメリカ留学記

## 2

幕別高校から初めて鈴木まゆみさん(二年)中里が太平洋文化教育協会の留学生として昨年八月から今年七月までの約一年間、アメリカ・ダンビルハイスクーに留学していました。体験記を寄せていただきましたので二回にわたり紹介しています。

学校は朝八時三十分から十五時八分までで、一教科四十五分、休み時間は三分ぐらいしかありませんでした。この三分は教室移動のためのものなので、友達と話すことはできませんでした。帰りは大半の生徒がスクールバスを利用するのですが、授業が終わってスクールバスが出るまで五分しかないの

で、授業が終わると急いでバスに乗ります。このため、「あまり友達をつくれぬ」という問題が留学生の間でよく出ていたようです。学校に通っていて、私にとっての大きな問題はテストでした。アメリカの学校は、テストと宿題が多いのでびっくりしましたが、これらを怠けていると進級ができませんので、たいいていの人はい

い点を取ります。日ごろいい点を取っておくと、学年末テストを免除してくれることも時々あります。ダンビルハイスクールの赤点は、六十九点以下でしたので大変でした。私は幾度も赤点を取りましたが、留学生だということで大目に見てくれました。

十月に入って、国民的スポーツのアメリカンフットボールが終わったので、私はホストファミリーと一緒に

にナイアガラの滝へ行きました。うわさ以上の大きさで、いつも滝っぱからしぶきが上がり、晴れた日には虹が見えるとのことでした。私たちが行った時は雨が降っていましたが、遊覧船に乗り全員カッパを着ました。また、カナダまで行く予定でしたが、私のパスポートが不十分で行けませんでした。

十一月になると感謝祭というのがあり、盛大に祝います。私は家庭科の課題で感謝祭の料理を手伝い、その料理を写真に撮って先生に出さなければなりませんでしたが、私はもともと料理が好きでしたので、大喜びでホストマザーの手伝いをしました。メニューは七面鳥の丸焼き、マッシュポテト、アップルパイ、パンキンケーキなど豪華なものでした。

感謝祭が終わると、すぐにクリスマスです。十二月の初めになるカードを送ります。アメリカのツリーは日本のより大きく天井まであり、飾りがたくさんあります。クリスマス朝、ツリーの下のプレゼントが一斉に開けられます。この時は、大人も子供も胸をはずませて、みんなからのプレゼント

を開けます。私はカップ、セーター、ネックレス、ポーチ、手袋とマフラーのセットなどたくさんいただきました。もちろん私も家族の人にプレゼントをあげました。アメリカ人は日本人ほど元旦を意識しません。ただ、大みそかにワインを飲んだりして祝うだけです。元旦の朝、ホストマザーが急に私を呼びました。何事か行つてみるとテレビに日本の元旦のようすが放送されていたのでした。着物を着た女性、初もうで。私にはすべてが新鮮に映りました。

十二月二十二日からの冬休みも一月二日で終わり、三日から学校が始まりました。夏休みが長い分、冬休みが短いのでそっけなく感じました。二月に入り、私のバースデーパーティーがありました。プレゼント

トを開ける時にバースデーカードも一緒に開けるのです。日本の友達からも手紙とプレゼントがありました。ふだん、そう気にしていなかった友情が離れてみるとありがたいものだと思つづく感じでした。

春になり、私の帰国の前にニューヨークへ行く話がありました。ある日ホストファミリーが飲酒運転で捕まり七月まで免許停止というハプニングに遭いました。ニューヨーク行きを期待していた私はがっかりしましたが、ホストファミリーは「アメリカ人のいいところばかりじゃなくて、悪いところも見れたんだから……」と。たしかにいいアメリカだけを見て帰ればそのイメージが私の「アメリカ観」につながつたと思います。

それ以来、私は留学とは何かと考え始めました。国際化、国際平和を考えるうえでどうしても欠かせないのが他国をよく知るところです。他国のいいところ、自国のいいところだけを見て物言を考える人はその意見も幅が狭くなつてきます。

今、日本と一番接触の多い国「アメリカ」。その国をより知ろうとするなら留学生、姉妹都市を多くし、たくさんの方と交流を持たなければなりません。そういう意味で私が体験したことは、国際交友への第一歩になると思います。

(おわり)



ダンビルハイスクールのバレーボールチーム(上段右から三人目がまゆみさん)

ダンビルハイスクールのバレーボールチーム(上段右から三人目がまゆみさん)

ホストファミリーとのクリスマス



# 特産品に係る懇話会が発足

## 自由な意見交換で今後の指針

各地で芽を出し、根を下ろしはじめた「一村一品運動」。

本町も「特産品開発研究活動費補助制度」などにより、地域経済の活性化と民間の特産品開発のお手伝いをしていきますが、今後の特産品開発の取り組みについて、町内の有識者から意見をいただく「特産品に係る懇話会」の初会合が九月七日午後、役場会議室で開かれました。出席したのは、農協、商工会、青年・婦人団体、金融機関の代表、町議会議員ら十六人。二時間にわたり、今後の方向づけな



活発な議論が展開された懇話会

どについて、活発な意見交換がありました。次回の会合では懇話会の役割や特産品づくりのリストア

ップなどについてさらに議論を深めることになっていきます。

水洗トイレついた二五パー

### 公共下水道

公共下水道事業は、本年度五月から幕別市街鉄北地域(本町、幸町、錦町、寿町、旭町の一部)の九百十五戸が供用開始になりましたが、水洗化工事を終えているものは二百三十四戸、工事申請中が四十戸で普及率は二五(九月十日現在)となっております。また、改造資金融資制度も百七十戸が利用しており、自己資金改造は二十八戸です。町では年度内に四百戸普及率四四(%)の達成を目標にしています。

### 野鳥観察に関する本

「バード・ウォッチング」発行  
幕別で見られる野鳥の生態や観察方法を紹介した本ができました。テーマは「バード・ウォッチング」で、ふるさと館で販売しています。なお、価格は一冊百五十円です。

## あなたが幕別の羅針盤

### 私の声を町長へ送る旬間

昨年に続き今回も「私の声を町長に送る旬間」を設け、よりたくさんの方の声を聞き取り、町づくりに反映させたいと思います。

広報紙に折り込んであるハガキに、日ごろあなたが思っていること、町政へのアイデア、将来への希望、意見などを気軽に書いてポストへお入れください。

▽住所、氏名はハッキリと書いてください。  
▽ハガキは十月十七日までにお出しください。  
なお、寄せられたハガキは、町長がすべて目を通し、担当課と協議して回答書を作り、町長の意見を加えて本人へ直接回答いたします。無記名のもものは、回答できませんのでご了承ください。

あなたの声が  
明日の幕別をつくります



完成したフィールドガイド第1集

# 健康

# 相談

## 質問

先日、四十歳の厄胃の検診に対するアンケート調査がありました。どのような結果になりましたか。(主婦)

## お答え

町では今年、四十歳と六十歳の還暦皆検診を計画して、昭和十八年生まれの方と大正十二年生まれの方に、胃の集団検診を勧めるはがきを差し上げました。それに合わせて行ったのが、胃の検診に関するアンケート調査です。

この調査の結果、四十歳では三百二人の対象者のうち、百四十六人(四八%)、六十歳のほうは百九十九人のうち百二十三人

受診しない理由 (複数回答)	40歳 (66人)	60歳 (63人)
今年、他の検診機関で受診した	23	34
調子が悪くなったら医者に行く	10	1
今までに受けた検診で異常がなかった	8	23
検診の時に不在のため	7	8
受けに行く暇がない	6	4
胃の病気で医者にかかっている	4	7
受けるのがめんどうくさい	2	0
「ガン」と診断されるのが恐ろしい	0	1
その他	15	14

(六一%)の返送がありました。また受診を希望した方は、全対象者の約三分で、九月上旬に検診が行われました。

回答していただいた方のうち、今回受診を希望しなかった百二十九人の受診しない理由は右の表のとおりです。

また、今回の検診を希望しなかった人で、今までも一度も集団検診を受けたことがない人は、六十歳で三人、四十歳では十八人もいました。四十歳の十八人の中には、調子が悪くなったら医者に行くという人が十人いましたが、調子が悪くなった時には、すでに病気が進行している場合もあります。自分は大丈夫と思う前に、まず検診を受けるということを心掛けましょう。

これからも、いっそう受診しやすいように考えていきますので、年に一度は胃の検診をすることを勧めます。

### アンケートの回答状況

項目	年齢区分	発送数	返送数	返送数のうち 受診希望
40歳	302	146 (48%)	80	
60歳	199	123 (62%)	60	



# まちの ニュース



### ▶立派なゲートボール場できる

「お年寄りに余暇を十分楽しんでもらおう」と日新公民館横に地域(日新・上稲志別)の人たちが、九月三日、農作業の合間をみてトラクターで土を運び、整地をして立派なゲートボール場を完成させました。



### ▶昔話に花を咲かす

地域のお年寄りの親ぼくを深めようと南勢老友会(千葉週会長)が、九月十五日の敬老の日に南勢近隣センターで交流会を行いました。この日は南勢地区の秋祭りでもあり、昔話に花を咲かせました。



### ▲空きカン、袋いっぱい

幕別・札内両地域の子供会連絡協議会が、8月26日「全町クリーン作戦」を実施しました。ビニール袋を手を持った子供たちが、国道38号線沿いを歩き始めると道路わきの草むらから空き缶が次々と見つかり、袋はたちまちいっぱいになりました。



◀その時あなたは……  
若草町公区(佐賀信義公区長)では、幕別消防署の指導を受けて消火器を使つての実技訓練を実施しました。参加した主婦たちは、万が一に備え、真剣に訓練を受けていました。

## 幕別風土記 十五

子供の仕事はまき割り、水くみなどでよくやらされてね。親は「仕事のできない人間はだめだ」と話していましたね。



うしお 牛尾コトミさん(78歳) 本町85

私は旧姓稲毛で、明治二十九年三月二日に香川県綾歌郡陶村で生まれ、大正三年の八歳の時に家族で止若へ来ているんですよ。内地では牛尾家の実家と私の実家が隣り村でしたが、私は牛尾の実家は知りませんの。

牛尾家は明治三十年八月に香川県阿野郡滝宮村から北海道へ来ています。その時は団体移住でなく祖父・栄造、妻・マツ、父・菊次郎、サト、光次の五人で来たと聞いていますの。主人宗久は明治三十六年十月十五日茂発谷で生まれたと聞いていますが、昭和二十四年一月十四日に現在の店で心臓病で四十七歳で亡くなっています。

幕別へ来た理由は、開拓の気持で来たようです。明治四十年ころに祖父が上原俊朗さん(錦

町)がいる付近で足踏式の精米所を開業したと聞いています。精米所は幕別では一番始めに開業したようです。昔の店屋には、売上帳とか大福帳があり支払いは年末払いというのが随分ありましたし、借金して支払いができない方もいました。

止若市街に電気がついたのは大正七ころか、もっと早いかも知れませんが新田工場から電気が入ったんですね、そして新田工場の都合の悪い時は電気がつかないんですの。おふろは昔から松の湯という銭湯がありまして、明治三十八年ころに松本長吉さんが開業したと聞いています。市街の火災は、大正八年、十年、十三年、昭和五年に大きな火災がありました。

昔は、朝二時か三時に起きて働いてね、夜なんかはろくに寝なかつたですけど、今なら一定の時間睡眠をし、仕事してちようどよくなりませんでしたからね。今は経済的に楽なんじゃないでしょうか。老人の保障ができていますから良い世の中になりました。

# みんなの 声

## ★ 老齢年金はいくらもらえますか

国民年金の保険料を25年間納めると、老齢年金はいくらもらえますか。また、そのうちの10年が保険料を免除された期間であるときはどうなりますか。

——老齢年金の額は、保険料を納めた月と保険料を免除された月に分けて、次の計算式で計算します。

$$\text{年金額} = (1,680\text{円} \times \text{保険料納付月数} \times 1.122) + (1,680\text{円} \times \text{保険料免月数} \times \frac{1}{3} \times 1.122)$$

図1

$(1,680\text{円} \times 300\text{月}) \times 1.122 = 565,500\text{円}$
25年保険料納付

図2

$(1,680\text{円} \times 180\text{月}) \times 1.122 = 339,293\text{円}$	$(1,680\text{円} \times 120\text{月} \times \frac{1}{3}) \times 1.122 = 75,398\text{円}$
15年保険料納付	10年保険料免除

したがって、25年間保険料を納めた人は図1の計算が行われ、565,500円になります。また、そのうち10年間保険料を免除された人は図2の計算になり、合計414,700円になります。

## 繰り上げ支給を希望すると……

現在62歳です。聞くとところによると65歳前からでも老齢年金をもらえるそうですが、繰り上げてもらうとうようになりますか、私は15年間保険料を納めています。

——老齢年金は65歳から支給されますが、60歳以上で希望すれば、60～64歳の希望する年齢から繰り上げてもらうことができます。この場合、年金額は支給を希望する年齢によって、右の率の額が差し引かれた額となっています。

### ●減額率

希望する年齢	減額率
60歳以上61歳未満	0.42
61歳 ♪ 62歳 ♪	0.35
62歳 ♪ 63歳 ♪	0.28
63歳 ♪ 64歳 ♪	0.20
64歳 ♪ 65歳 ♪	0.11

あなたの年金額は、 $[(1,680\text{円} \times 180\text{月} \times 1.122)] + [650\text{円} \times (300\text{月} - 180\text{月}) \times 1.122] = 426,809\text{円}$  になりますが、62歳から支給を希望すれば、この額から28%減額され 307,302円(端数整理をして 307,300円)となり



国民年金の請求、免除の申請、届出については、民生課年金係 ☎ 54-2111 (内線 109)へおたずねください。

◆◆ (投書) 町に対するご意見や質問などがありましたら、お寄せください。出来事や体験などでも結構です。

投書には住所・氏名をお忘れなく。匿名ですと返答をお伝えするにも連絡のしようがなく困ります。広報紙に載せるときは、匿名希望とお書き添えいただければよいにしますし、秘密は守ります。

□あて先…… 本町130番地 総務部企画財政課広報広聴係

ます。(次の図を参照)

支給額307,300円	減額119,507円
15年保険料納付=426,809円	

なお、支給繰り上げの請求をする場合には、次に掲げることを十分に承知しておかなければいけません。

- (1)支給の繰り上げを請求した人の年金額は、本来の老齢年金の額(65歳からうけるべき額)から、支給を希望したときの年齢に応じて一定の額が減ざられ、しかも、その額は、65歳になっても引き上げられることはなく、一生減額された年金をうけることになります。
- (2)支給の繰り上げの請求による受給権が発生した後に、年金額の増額等を意図として、請求の取消し、支給を希望する日の変更を申し出ても、裁定の取消しまたは変更はできません。
- (3)支給の繰り上げの請求による老齢年金の受給権は、支給を希望する日に発生し、年金の支払いは受給権が発生した月の翌月から開始されます。
- (4)支給の繰り上げの請求ができるのは、60歳以上65歳未満の期間に限られており、60歳になる前の請求、65歳になってからの請求はできません。

道々は狭いので子供や老人の自転車での事故が心配です。また、農村地帯ということもありますが防犯意識が少し低いですね。自分の命、財産は自分で守る、このことが必要だと思えます。コミュニケーションを大切に信頼される駐在所にしたいと思えます。

自然が豊かなので二人の子供は昆虫取りなどして大喜びです。幕別温泉、千代田えん堤にも行ってきましたが大変良い所です。

民が一人増えたと思って接して「ください」とあいさつしましたが、地域とのふれあいが大切だと思います。

赴任そうそう、地元で歓迎会をしていただきました。住民が一人増えたと思って接して「ください」とあいさつしましたが、地域とのふれあいが大切だと思います。



ほんま まもる 本間 擁さん (31歳) 五位373

## 新町民登場

# かしわの杜の 盛大な秋祭り

第54回  
幕別ちま祭り

路傍の神——  
開拓と信仰 ⑱  
明 倫

「走れー、走れー、あと一点で逆転だ。がんばれー。去年は惜しいところで、上(明倫一農事組合)のチームに負けたからな。今年は絶対にうちが優勝するぞ」と、元氣な掛け声が方々から飛び交う。秋祭りには必ず行われる、三地区対抗のソフトボールである。朝一番に相撲を終えた子供たちが、応援に加わるといっそうにぎやかである。

正面には、昭和四十三年に建てられた拝殿があり、その奥に昭和十一年九月五日に上棟された本殿がある。それまでは、木材による神標だけであった。本殿の上棟式には、もち米二俵分について、もちまきをして、住民総出の大にぎわいだった。

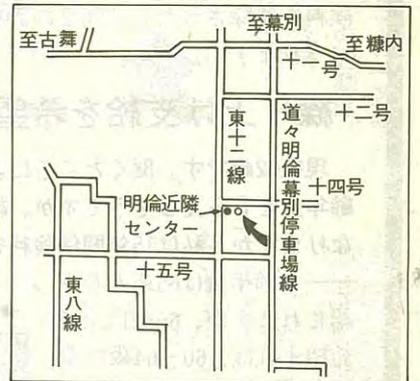
ソフトボールの試合が行われている小学校グラウンドの北側に神社があり、そこがちょうど明倫の中央部に当たる。車の通れないような細い道を進むと、巨大なかしわの木が立ち、昼間でも薄暗く、う

開拓の遅かった明倫では、昭和二、三年ころ開墾の鍬が下ろされ、最初に入植したのは七戸であった。当時、新田帯革工場が伐採したときの残木の整理や、抜根に血のにじむような努力をしたのである。戸にかく、なんといいっても、水のな



かしわ林に囲まれた明倫神社の境内

もそんなに飼えんし、どうしても手作業が多かった。家もなるべく沢の近くに建てたが、毎日てんびん棒を担いだり、馬に四斗だるを担がせたりして、水をくみに行ったもんだ。糠内や美川にまで行ったこともあったなあ。冬なんか特に大変でなあ。雪を溶かして飲み水にしたり、一回使った水を二回も三回も使ったりしたもんだ。その後、井戸が掘られるようになり、だいぶ楽になったなあ。それでも深い井戸は、二十けを越すものも



あつて、くみ上げるのに大変だった

「秋祭りは、特に楽しみでなあ。それは、それは、にぎやかなもんだ。豊年踊りの時なんか、それこそ、南幕別の青年全部が寄り集まるくらい盛大だったんだ」と、その当時のことを語ってくれました。

当時の秋祭りは、神社を祭るといふより、開拓のつらさや農作業の疲れをいやし、親ぼくを深めたりすることのほうに重要な役割を持つていたのである。不作の年でも欠かすことなく、毎年必ず行われていた。今年も、豊作に感謝するかのよう「ドン、ドン、ドン」と太鼓の音が聞こえてくる。

この陽気で、楽しい秋祭りを今後とも絶やすことなく、続けていってほしいものである。

◆ 明倫神社は、新田帯革工場から土地の払い下げを受け、時の止若金比羅神社の神主・野瀬駒次郎氏により、奉斎天照皇大神御璽」と

記された紙が御神体である。  
(取材・前川澄枝 ぶると鐘スタッフ)  
・取材協力 前川 初弥さん

## 「寄付ありがとうございます」

### ■町へ……

▽北海道新聞社から北海道大百科事典(上・下巻)を十四セット  
■町社会福祉協議会へ……

▽五十嵐吉三郎さん(札幌中央町)から三十万円  
▽幕別町女性ドライバー友の会から一万円  
▽幕別町商工会青年部札幌支部から三万五千二百五十円  
▽町民ゴルフ大会代表から五万九千一百十円  
▽十勝信用組合幕別支店(本町)から一万円  
▽幕別町地域子供会から二千五百五十円  
▽匿名の方から千円

### ■老人クラブへ……

▽高島富治さん(美川)から美川老人クラブへ三万円  
▽近石章さん(緑町)から幕別老人クラブへ一万円  
▽佐藤貞雄さん(中里)から糠内老人クラブへ二万円  
■その他……

▽特養札内寮職員親ぼく会から社会福祉法人幕別真幸協会へ五万円  
▽乙武善正さん(南町)から保護司会幕別分区分へ五万円

## 角田和夫さんから 町へ百万円の寄付

本町出身で北海道工業大学教授の角田和夫さんから「現在建設中



菅原助役へ手渡す角田政平さん(右)

の若草町近隣センターの環境整備に使ってほしい」と、町へ百万円の寄付があり、寄付金は代理として役場を訪れた父親の政平さん(札幌中央町)から菅原助役へ手渡されました。

## 今年も親ザケが泳ぐ!

ふるさと館のジャンボ水槽では、大樹町から輸送された親ザケが、元気に泳いでいます。

